

請願香決「現行の健康保険証を残してほしい」

市長「予算に反対するから」と差別!?

8月31日〜9月27日まで行われた9月議会では、市民の思いを国に伝えて欲しいと、久永議員を通して議会に請願書が出されましたが、認められませんでした。今号は請願書と決算審査の一部について報告します。

来年10月 今の

「健康保険証」なくならない

国はマイナンバーカードと紐づけした「マイナ保険証」を強引に進めています。マイナンバーカードは任意です。しかし、マイナンバーカードをつくらないと健康保険証が使えない仕組みにしようとしているのです。

市民団体から「今の保険制度で困っていないのに、強制的になくされては困る。安心して医

大府

かわら版



<12月 議会日程>

★いずれも 9:00~

11月30日(木) 初日

12月7, 8日(水) 一般質問

12月12日(火) 建設産業委員会

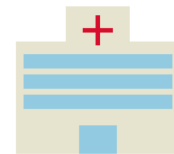
12月13日(水) 厚生文教委員会

12月14日(木) 総務委員会

12月19日(火) 最終日

否決! 請願者の思い届かず

療が受けられるように、今の健康保険証を残してほしい」という思いが各会派に伝えられました。合わせて「大府市議会から国に意見書を上げて欲しい」という請願の紹介議員の依頼をしたこととです。しかし主旨に賛同し紹介議員となったのは久永議員のみでした。(裏面参照)



討論に立った藤本議員(親和)・森山議員(無会派)はマイナンバー制度に推進の立場で反対。飯尾議員(無所属)は、そもそも意見書として上げる内容ではないともとれる理由で反対。結果、久永議員一人の賛成で否決となりました。

「決算討論」岡村市長からの

差別を指摘

「予算等に反対するから…」

岡村市長は、議会の議案等について、他の会派の議員へ資料を示し、丁寧な説明を行っていきます。しかし、令和4年まで日本共産党久永和枝議員には予算などに反対することを理由に、平等に説明が行われず差別されてきました。(現在は平等に行われているはずですが)これは、久永議員への差別だけではなく、賛否に関わるため市民への不利益にもつながります。

丁寧な説明で理解を求めるべき

本来は調査のための資料や情報が全議員に平等に示されるのが当然です。その上で意見をたかかわせてこそ健全な議会とい

えるのではないのでしょうか。久永議員は、以上の点について議会最終日の討論の中で指摘し、意見を述べました。

【市民の声】

「10月1日からふれあいバスが増便・変更」東コースのルートが長寿医療センターに行くようになった。そのため、消防署前でおりて、40分歩いて買い物に行くことになった。グリーンプラザのバス停を通るのだから、これまで通りとまって欲しい。横根町 80代

相談はお気軽に 声かけください

◆生活相談

: 日常生活の困りごと。

◆弁護士による無料法律相談

: 11月15日(水) 18時~

り、予約制で弁護士が対応。

久永かずえ携帯電話

(090)1758-3521

★急ぎの方も、まずは久永議員までお電話ください。